

No.560(一九九四年一月一・二日合併号)から
No.591(一九九四年二月二一日)まで

No.560(一九九四年一月一・二日合併号)

◇巻頭言◇ 激動する政治情勢
解党派とのたたかい―「護憲・社会党を

岩井 章
坂牛 哲郎

再生する全国ネット」の任務―
自民党より反動的な細川連立内閣

―コメと消費税と「並立制」の三点セットで社会党解体進む―
社会党大会方針(案)とわれわれの課題

―青酸カリを吐き出すために最大の努力を―

「社会の主人公」たる人間性とは―「学習のすすめ」、よりよい社会実現のために①
国鉄闘争の最前線①―国鉄闘争と中労委の位置―

「護憲の社会党を再生する

全国ネット」総会報告①

◇来ひんあいさつ 新しいものに立ち向かうべく自ら鼓舞

岩井 章

◇来ひんあいさつ 私どもは労働運動を支える

吉岡 徳次

◇来ひんあいさつ 社会党の魂をもう一度とりもどす

栗原 透

◇読者からのおたより◇編集部だより

No.561(一九九四年一月二一日号)

◇巻頭言◇ 最高の戦術はストライキ

「賃金凍結」ねらう財界

―新たな政・財・官のユチャク成立へ―

中労委命令の評価と課題

―国鉄闘争の最前線―

「ウソつき殿・様」と赤穂浪士

九四国民春闘をめぐる経済情勢―円高、不況、

「リストラ」合理化と労働組合―

米の貿易自由化、三つの問題点

全力で団結と党内闘争を

灰原 茂雄

◇奈良の仲間からの報告◇

小選挙区法案は廃案寸前

「日ごと新しいもの」を見出す学習を

―「学習のすすめ」、

よりよい社会実現のために―

読者からのおたより

No.562(一九九四年二月一日号)

◇巻頭言◇ 連立内閣からの離脱なくして展望は生れない

資料1 社会党は立党の精神にたつて対処を

資料2 政権与党の責任全う、毅然たる処分を

資料3 社会党中執の「処分方針」について

社会党兵庫県本第六九回大会流会の背景と問題点

国鉄闘争支援のあり方―国鉄闘争の最前線③―

「護憲の社会党を再生する全国ネット」結成総会報告③

◇「めざすもの」提案未来を見ずえて

◇活動計画提案四月にも第二回総会

小峰 雄蔵

常松 裕志

岩垂 寿喜男

No.563(一九九四年二月一日号)

◇巻頭言◇ 衆・参二十八人の待を激励しよう

談合、ペテンと「政治改革」四法案―強権体制もくろむ小沢・細川体制―

やったア！小選挙区法案否決―政界再編と社会党―

日本国憲法を総学習しよう―「憲法」そして九条と九二条―

資料1 三月に「国民集会」で運動もりあげ(全国ネット)

資料2 小選挙区法案否決は「民意」(千葉高教組)

資料3 「違反」議員に「ケジメ」を(社会党と連帯する労働組合会議)

資料4 法案成立に全力つくせ(連合)

資料5 四名を議員団から「凍結」(自治労)

資料6 法案否決はまことに遺憾(自治労)

九三春闘総括から九四春闘へ―春闘の経済学①―

「護憲の社会党を再生する全国ネット」結成総会報告④

地方の仲間からの発一言(山形、奈良、自治労)

旬刊社会通信の誌者と取扱い者の皆さまへ

No.564(一九九四年二月二一日号)

◇巻頭言◇ 消費税廃止！「福祉目的税化」容認できぬ

社会党の「組織分裂」始まる！―村山指導部の主体性で内閣離脱を―

闘い終って今 小峰雄蔵

全面解決要求で総決起を―国鉄闘争の最前線画―

全面解決にむけ「思い一つ」にして闘う

―「北海道地労委勝利命令五周年」北海道集会―

資料1 勝ちたい(闘争団家族からの訴え)

◇投稿◇会社閉鎖、首切り

◇瓢箪(ひょうたん)から駒②◇労働力、商品、賃金闘争と不況

読者からのおたより

No.565(一九九四年三月一日号)

◇巻頭言◇「支払い能力」はたっぷりある

◇問題提起松枝佳宏(兵庫)◇

地域・職場から「行動綱領」づくりを

「新生・公明」の新たな党に乗る細川 — 大増税構想は死んでいない —
行政訴訟と闘いの展望 — 国鉄闘争の最前線⑤ —

マンネリ化していないか、われらの学習

—「学習のすすめ」、よりよい社会実現のために③—

国鉄当局、JRを断罪 — 国労横浜人活事件、全面勝利 —

◇瓢箪(ひょうたん)から駒③◇内外価格差「是正」は賃下げ攻撃

チューター学習会でオツムを豊かに

読者からのおたより

No.566(一九九四年三月一日号)

◇巻頭言◇「護憲ネット」二つの集会に参加しよう

社会党右派いよいよ保守新党づくりへ

—細川・小沢に対する権力闘争広がる—

力を合わせ一万人希望退職反対の闘いを — 全電通の仲間からの報告 —

「思想を練り上げ、判断力を養う」 — 「学習のすすめ」、

よりよい社会実現のために —

◇問題提起◇ 社会党「再生」の真の意味を考える

思考の翼をひろげ、生き様をぶつける — 社会党「再生」への私の思い —

読者からのおたより

No.567(一九九四年三月二一日号)

◇巻頭言◇ 日本の政治、そして社会党

ついに出来た「リベラル新党構想」

—基本政策と党名の変更が第一歩か—

◇瓢箪(ひょうたん)から駒④◇

過剰生産恐慌は資本主義の業病

—九四春闘の経済学—

歴史的転換点に立つ労働運動

—労働運動再生への問題提起—

全道労協四十四年の歴史に幕

戦後日本の平和と民主主義の申し子

—総評オルグは不滅—

読者からのおたより

No.568(一九九四年四月一日号)

◇巻頭言◇ 国民統合化の先端に労働組合

右派の新党構想に反撃を―四月下旬の社会党中央委を重視しよう―

◇問題提起◇

社会党员として生き残れるのか!

不況⇨恐慌、連合労働運動の経済学

外圧たよりの学校五目制ではダメ

◇瓢箪から駒⑤◇経済学から国家発生史へ

―九四春闘の政治経済①―

大阪高裁不当判決を糾弾する―京都コンピュータ学院労組からの報告―

◇読者からのおたより◇編集部だより

誌代値上げのお願い

No.569(一九九四年四月一日号)

◇巻頭言◇ 春闘はどこへゆく

小沢・市川派の新々党攻勢続く ―「社民・リベラル」新党は夢の又夢―

改憲阻止を闘える政治勢力の

確保、前進めざす ―「護憲ネット」当面の活動方針(九四・三・一九)―

◇兵庫の仲間からの報告◇われわれは前進する

―本岡「県本部」に処分する権威、権限はない―

資料1 兵庫県本部への査察要請について(栗原富夫他十名)

資料2 除名通告(本岡「県本部」通達七号)

資料3 「社会党・護憲クラブ」の

名称について(「本岡県本委員長」)

集まった、語った、心が通った―「がんばれ青票護憲派議員!」

政治を変えたい市民大集会」の記録①―

◇読者からのおたより

◇誌代値上げのお願い

No.570(一九九四年四月二一日号)

巻頭言◇ 細川辞任、新生・公明主導に対決を

細川政府崩壊前夜の状況 ―消費税廃止は社会党の「生命線」―

資料人間的な「共生」の社会をめざして(「太陽」結成のよびかけ)

新たな段階に入った日本経済 ―円高、海外移転、空洞化―

マキャヴェッリ老の疑問

社会党员よ、さあどうする

本当のたたかいはこれから ―公平審理を終えて―

◇瓢箪から駒⑥◇古代国家成立の「内圧」と「外圧」

読者からのおたより

No.571(一九九四年五月一日合併号)

◇巻頭言◇ 労働者の賃金論

新連立内閣はさらに反動政治を推進する

—消費税反対を先頭に今こそ大衆運動を—

ある「重症患者」との対話

演出される朝鮮半島の「危機」 —本質は帝国主義による植民地支配の復活

取り残される個人の人權 —郵政労資のせめぎ合いの歴史の中で—

◇瓢箪(ひょうたん)から駒⑦◇大和政権、中央集権化の背景

国鉄「分割・民営化」の破綻明らか

—「分・民」七年めを検証「浜頓別集會」

組合員が作る羊かん、木工品を拡めて

—音威子府闘争団からの心からのお願い—

読者からのおたより(国労上京団炭鉱節他)

編集部だより

No.572(一九九四年五月二一日号)

◇巻頭言◇ イタリア総選挙が教えるもの

現行中選挙区で解散・信を問え! —社会党は羽田政治と対決、再生を—

土井衆議院長講演会に三千五百人 —平和憲法を護る米沢の集い—

ドイツ社会民主党と日本社会党 —相次ぐ選挙戦、その焦点は—

「魅力ある」職場づくりをめざす —全通・全国青年代表者会議報告—

闘いを通じた交流、学習が私たちの財産 —国労留萌闘争団が団総会—

◇消費税パンフの紹介◇「税率ゼロか、引き上げか消費税」

読者からのおたより

◇投稿◇ 兵庫でたたかいつづける

No.573(一九九四年六月一日号)

◇巻頭言◇ 全国キャラバン、六・二八中央大集會に結集しよう

—JR労使紛争の全面解決をせまる—

解散・総選挙を勝ち取り社会党の再生を

—中央委の成功と護憲リベラル政権のために

「内閣復帰」めざして右派の巻き返し

—連合山岸派も策動開始—

思いつきり主観的な感想とぼくの発言

—「護憲ネット」第二回総會に参加して—

◇瓢箪(ひょうたん)から駒⑧◇

氏名と戸籍登録は人民管理の基礎

—天智、天武で古代国家は完成へ—

読者からのおたより

No.574(一九九四年六月一日号)

◇巻頭言◇「孫子」の兵法と階級闘争

羽田内閣の自主的総辞職で社党復帰か

―あせり出したデモクラツツ派が策動―

都本部統開大会の経緯と展望

◇瓢箪(ひょうたん)から駒⑨◇ 律令国家の構造

能力主義教育をどう越える ―日教組運動の現状と課題―

拡大する非常勤雇用 ―郵政における非常勤一雇用の問題点―

リストラなんかに負けないゾ

九四春闘の収支決算

面白くなった「国労闘争団ニュース」

読者からのおたより

No.575(一九九四年六月二一日号)

◇巻頭言◇「風林火山」と社会党のゆくえ

社会党「内閣復帰」の策動強まる ―山岸連合、民間政治臨調、右派の動き急

闘争体制は整備された、勝つ！ ―国労闘争団全国代表者会議から―

「ふつうの国」で進む憲法改悪策動

憲法を守る「青票」議員と翼賛政治にクサビを―五・二二静岡集会開催される―

資料「ストップ憲法改悪」めざす(五・三集会アピール)

◇瓢箪(ひょうたん)から駒⑩◇律令国家の変更

読者からのおたより

No.576(一九九四年七月一日号)

◇巻頭言◇「護憲ネット」に活動引き継ぐ ―党建協が発展的に解消―

「連立復帰」と「解散路線」の対立続く ―「保・保連立」(中曾根・小沢)も動く

資料1 社会党・民主党と連合との協議(連合)

資料2 「政治改革推進・決起集会」への動員協力要請(民間政治臨調)

資料3 「政治改革推進・決起集会」への参加要請(連合)

資料4 羽田政権与党に、政権協議申し入れを(連合)

資料5 「連合政治・政策フォーラム」について

資料6 「連合政治・政策フォーラム」の趣意書注目される日教組大会

―政党支持、春闘「リストラ」中で―

京都でも朝鮮総連への政治弾圧

「変質」連合と「階級性」の日経連

三つの課題に実践団体としてだんこ行動―日経連の今後の活動方向―

われわれの学習は十分か

―学習活動の強化にむけて―

◇読者からのおたより◇編集部より

No.577(一九九四年七月二一日号)

◇巻頭言◇ 二つの「保守」の間で

村山連立内閣を支える大衆運動を

—「小選挙区制」ある限り社会党の危機は続く—

資料新たな連立政権とわれわれの任務(「護憲ネット」)

朝鮮の「核疑惑」騒ぎ —隠された陰謀と現代史認識の誤り—

不当労働行為と「文春」問題は一体 —JR東日本の言論封殺に国労が見解—

渦巻く怒り・不安・不満・怨嗟

「消費税パンフ」ご購読を—社会党の現状への三つの思い—

◇投稿◇求められる私たち自身の体質改善

◇瓢箪(ひょうたん)から駒⑩◇

◇古代国家の実相◇読者からのおたより

No.578(一九九四年七月二一日号)

◇巻頭言◇社会党再生のためにはケジメが重要

自・社・さきがけ政権誕生で大混乱 —産別大会をめぐる情勢の特徴①—

◇広島からの報告◇このアクションを全国に拡大しよう

—青票議員が広島に勢揃い—

出口はアメリカン・スタイルの「リストラ」のみ？

—ナポリ・サミットと

ヨーロッパ経済の現況—

全日成主席の急逝と朝鮮情勢

読者と編集部との「対話」

読者からのおたより

No.579(一九九四年八月二一日合併号)

◇巻頭言◇ 国労組合員、青票議員、社会党員

社会党は「自衛隊合意論」で解体か

—第三保守党めざす久保右派—

勝つための法則と技術—『孫子』のすすめ—

大量失業時代を闘う労働運動を

—産別大会をめぐる情勢の特徴②—

村山政権のもとで我々は何をなすべきか

資料村山総理の「自衛隊合意」

発言について(護憲リベラルの会)

労働運動再生への課題

—全国の私鉄労働者の皆さんへ—

◇瓢箪(ひょうたん)から駒⑫◇古代国家の崩壊から武家政権へ

読者からのおたより

No.580(一九九四年八月二一日号)

上野 建一

◇巻頭言◇ 「自衛隊合憲」のもたらすもの
党全国大会に総力を結集しよう！ ―九月二日党員決起集会に参加を―

◇全国党員のみなさんへのアピール(護憲ネット)◇

「自衛隊合憲」論「反対」!

首相の自衛隊論と社会党のとるべき道

◇投稿◇求められる私たち自身の体質改善

水鳥のススメ

―マルクス・レーニン主義と形式論理―

低コスト主義で円高はとめられない

足を運び心を通わせる

―長野県の国労共闘運動―

勝利への意志統一はできあがった

―ますます広がる支援連帯の輪―

額に汗して働く県民の心に鼓動をよびおこす

読者からのおたより

No.581(一九九四年九月一日号)

◇巻頭言◇ 「九・二全国社会党員総決起集会」に参加する

自衛隊合憲から派兵賛成へ

―社会党はいよいよ解党―

いまこそ、憲法九条を守り

拡めることを訴える

―村山首相見解をめぐる憲法学者の声明―

◇社会党兵庫県本「再生」に巨大な一歩◇

「護憲社会党」(通称)発足の「アピール」

資料基本路線を堅持し村山委員長の発言の撤回を求める意見書

―立党の精神に立ち返れ―

◇投稿◇金父子体制と社会主義

様変わりした全通大会

競争というレースを中止させる道

「内に内に」から「外へ外へ」

―がんばれ！国労音威子府闘争団―

読者からのおたより

音威子府闘争団激励の旅に参加しませんか

No.582(一九九四年九月一一・二二日号)

◇巻頭言◇護憲の新政治勢力の結集へ

「大会資格委」の不当な決定に対して強く抗議する

― 日本社会党兵庫県本部再建準備会

委員長岡崎宏美―

資料1 第一号議案に対する三十県修正案(全文)

九・二全国社会党員総決起集会開く

― 熱気と笑いに覚悟秘め、一〇五〇人結集

資料2 歴史的使命担うことを覚悟(集会「特別決議」)

現情勢と社会党「再生」の課題―問われる社会党員の生き方―

◇地方行革攻撃最前線から高知県織労のたたかい◇

労使慣行改悪反対闘争

新たな段階で今年も「平和展」

― 村山発一言、社会党「転向」のなかで―

政策転換認めず―社党・広島県本部が反旗

― 「読売」九月六日付報道―

亀井さん安全問われるのは日航だけじゃない

◇読者からのおたより◇編集部だより

No.583(一九九四年一〇月一日号)

◇巻頭言◇勝つために!五つの課題

基本政策転換は政治に反動を持ち込む

― 社会党の九五年宣言阻止闘争は無意味―

中央はだめでも地方は元気だった

― 基本政策転換と私たちの課題―

自・社連立に異議あり

“修正案”提出者に心から敬意 ― 北海道新聞にみる社会党大会―

◇投稿◇

必要な「護憲派」社会党員の体質改善

資料1 護憲の新たな政治勢力の結集をめざして(「護憲ネット」事務局第一次案)

資料2 離党にあたっての声明

日本の階級闘争、護憲運動とベトナム、中国

― 中国、ベトナムを旅して①坂牛哲郎―

読者からのおたより

No.584(一九九四年一〇月二二日号)

◇巻頭言◇「護憲社会党」建設の準備を！―「護憲ネット」の組織強化が重要―
社会党中央の混迷を促進する右派「新民連」

資料1 広島県本は「護憲」の旗を高く揚げ結集（社会党広島県本大会、委員長挨拶）

資料2 ヒロシマの良心曲げてはならない、臨時大会に激励

資料3 「ヒロシマの心」と「憲法の理念」に忠実であり続ける

（社会党広島「大会宣言」）

資料4 「消費税」に反対し、民主税制の確立を求める特別決議（社会党広島県本）

資料5 上関原発に反対する決議（社会党山口県本）

資料6 県本部と中央本部の一切の関係を凍結（社会党沖縄県本）

資料7 社会党との支持協力関係を凍結（広島高教組）

資料8 護憲派、市民勢力結集が政治変革の道（新党・護憲リベラル「結成アピール」）

資料9 自衛隊の軍縮進め、違憲状態の脱却めざす（新党・護憲リベラル「政策目標」）

資料10 「護憲の新たな政治勢力の結集をめざして」―提案メモ（「護憲ネット」）

中国、ベトナム労働者との連帯が急務

―日本の階級闘争、護憲運動の課題②―

読者からのおたより

No.585（一九九四年一〇月二二日号）

◇巻頭言◇ 「共有、参加」の手法のもとで主体性消滅

「久保新党」幻に終わるか

―山花・新民連、動きとれず―

◇投稿◇護憲の社会党の終焉と新政治勢力の形成

歴史的「とき」、主体性をもとう、自立しよう！

資料1 「新民主連合」の今後の活動展開（事務局メモ）

資料2 政界再編への対応と選挙協力の対応（久保発言）

団結権侵害は明らか、国は連やかな解決を

―福岡、熊本採用差別事件命令に国労が声明―

百害こそあれ存在意義なき中労委

―国労闘争団全国連絡会議が抗議文―

労働者の権利確立めざす

―京都コンピュータ学院闘争支援集会―

読書のすすめ1おもしろい本、紹介して

◇パンフ紹介◇「父をかえせ」

読者からのおたより

No.586(一九九四年一月一日号)

◇巻頭言◇「社会通信」の十七年

公明党分党、民社不満、新生主導の新々党

—「新民連」は新党構想描けずアセリ—

◇「切り抜きの小窓から①◇

民間政治臨調が仕組んだストーリー—

労働組合を労働者の手に取り戻す

—役員選挙は「最大の課題」—

“異様”な雰囲気の中で第一回会議

—「全連第一回全国青年代表者会議」報告

資料新青年部運動のスタート(全通青年部年間行動計画)

◇本の紹介◇加藤多一さんの新作児童文学

『きこえるきこえる—ぼう神物語』

日本社会党を離党するにあたって平井英司

入党から十九年、すっかり変わった社会党

“廃県置州”を提言、

小沢一郎流「地方分権」論

現場労働者の意識の変化に注目を

全国各地に運動拠点をつくり、結ぶ

—原点に帰り、労働運動再生めざす—

「十・三〇」国労団結まつりに参加しよう

◇読者からのおたより◇編集部だより

No.587(一九九四年一月一日号)

◇巻頭言◇ 社会党解体攻撃を迎え撃つ

久保新党は離党⇨解党まで考えず

—「内閣改造」で右派の懐柔をはかるか—

日教組、消費税率引き上げ反対を修正で決定

現情勢の特徴とわれわれの任務

—当面の情勢を考える—

政界再編と憲法のゆくえ(政界再編の構図)

執行部辞任、新執行部選出へ!

◇「切り抜きの小窓から②◇

中曾根「民活」のツケ、バブル崩壊

護憲社会党(兵庫)が各地で候補者擁立

—来春の統一自治体選勝利に始動—

読者からのおたより

消費税率引き上げ反対闘争センター発足

No.588(一九九四年一月二一日号)

◇巻頭言◇ 反消費税運動の波をつくりだそう

資料1 消費税率引き上げ反対闘争センターのとりくみ

資料2 税制改革法案の廃案要求(「反対闘争センターアピール」)

資料3 「しんぶん護憲」(兵庫)の創刊にあたって

新党への流れ急―久保・新民連の策動進む―

新党へ自治労、日教組なども活発な動き

国労の闘う方針を支持する―国鉄闘争の最前線⑥―

ぼくにも勇気が欲しかった

―父の支えになりたい大串裕治君(佐賀地区闘争団家族)―

常に大衆の中に、常に大衆とともに―社会党をめぐる情勢と任務①―

◇投稿◇「社会通信の一七年」と「思い出の一冊」

「読売新聞」を買わない運動

◇読者をふやして ◇読者からのおたより◇編集部だより

No.589(一九九四年二月一日号)

◇巻頭言◇ 社会党「解党」工作とわれわれの任務

「新民連新党」二一月結成に妥協か―村山派は機関に新党準備会を提起―

楽しい組織づくり、運動づくりを―社会党をめぐる情勢と任務②―

大江文学と「戦後民主主義」の復権

◇投稿◇がんばれ!「シーラカンス」

◇「切り抜き」の小窓から③◇

地方分権―「廃藩置県」から「廃県置州」へ

山川均さんの四十五年前の原稿発見

◇読者からのおたより◇編集部から

No.590(一九九四年二月一日号)

◇巻頭言◇ お笑い芸人の「前衛性」

大原社研に向坂文庫を訪う

今こそ「護憲社会党」の旗を高く―分裂に備え討議などの諸準備を―

新民連のシンポジウム失敗

「久保新党」は一月先細り発足か

「読売」の不買運動を

危機に立つ日本の食料政策―農業につうじ日本の現状を考える―

組合民主主義の確立を求めて―不満、要求でる支部運動が第一歩―

◇投稿◇「離党」への私の思い

結果オーライ社会とノーベル賞

最高裁がJR東日本を断罪―JR側の敗訴確定―

◇読者からのおたより◇編集部だより

No.591(一九九四年二月二一日号)

◇巻頭言◇ 「リベラル新党」阻止に全力をあげよう

改憲論議誘発のための起爆剤加藤晋介

―読売「憲法改正試案」の狙いと内容①

「丸ごと新党へ」が勢い増す

―久保執行部も新党を急ぐ方向―

資料1 社会党解散は絶対反対(社会党館林総支部)

資料2 民主的な党運営を求める(社会党佐賀県本部)

資料3 「民主リベラル新党」に反対し、団結署名よびかけ(社会党神奈川県本有志)

◇山形・消費税廃止「米沢市民の会」からの報告◇

不安の中の行動だったが、共感に勇気百倍

「護憲ネット」加盟を強めよう!

―当面の政局と私鉄労働者の任務―

どの職場も同じ、共闘の条件は拡大

―第三七次国労闘争団東京常駐オルグから

◇「切り抜き」の小窓から③◇

郵政「民営化」とサマータイム制

―「協力してから」では「後の祭」―

読者からのおたより

政治講演会へのおさそい